

教科書				
・使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
プリント資料もしくはウェブ資料を利用する。 ＜参考文献＞ 『パターン別徹底ドリル 日本語能力試験N1』 西澤俊哉ほか アルク 『ドリル＆ドリル日本語能力試験N1文字語彙』 ユニコム 『ドリル＆ドリル日本語能力試験N1文法』 ユニコム				
授業計画				
1. オリエンテーション、文字語彙 2. 文字語彙 3. 文字語彙 4. 文字語彙 5. 聴解、復習と小テスト（１） 6. 聴解 7. 聴解 8. 文法、復習と小テスト（２） 9. 文法 10. 文法 11. 文法 12. 読解、復習と小テスト（３） 13. 読解 14. 読解 15. 読解、総復習と期末試験準備				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
☐ ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）		
☐ ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク		
☐ オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク		
☐ キ：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）				
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
各資料の予習と復習をしっかりと行うこと。 語句の読みや意味調べなどの予習を毎回１時間行ってください。 そして、特に復習に力を入れてください（毎回2時間）。関連する練習問題もやってみるといいです（１時間）				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
留学生を対象とした科目群であり、資格取得に向けた総合的な日本語能力の向上とともに、本学のディプロマポリシーの一つである論理的思考力を持った人材育成にも資する。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
実務経験の有無及び活用				
備考				